令和2年度 志教育全体計画

宮城県南郷高等学校

校 訓
礼譲和協

本校の教育目標
「礼譲和協」の校訓にふさわしく、地域社会の発展に貢献しうる人材を育成する。
<ol style="list-style-type: none"> 1 志教育を推進する学校づくり 2 特色と魅力ある学校づくり 3 いのちを大切にする学校づくり 4 地域とつながる学校づくり

生徒の実態、教師の願い
全体の約7割の生徒が就職を希望している。志教育の観点から計画的・継続的な取り組みを行い、社会人として自立して欲しい。

保護者や地域の願い
地域産業の担い手として活躍して欲しい。 明るく素直で、思いやりの心を持った社会人になって欲しい。

「志教育」の目標
<ol style="list-style-type: none"> 1 志教育を推進し、確かな勤労観・職業観を身に付けさせ、社会人として自立させる。 2 適切な進路情報を提供することにより、個人の適性に合った進路選択の実現を目指す。 3 進路決定できる能力と基礎学力の向上に取り組み、進路達成の実現を目指す。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<p>学校・地域・家庭などの様々な人とのかかわりを通して、コミュニケーション能力を身につけるとともに、他人を思いやる心をもって集団生活を送れるようにする。</p>	<p>進路ガイダンスやインターンシップ・企業人講話・職場訪問等を通して、自己の適性を理解し、将来の進路について考えさせ、実現に向けて努力させる。</p>	<p>ボランティア活動や地域の行事などに積極的に参加し、自分の役割を果たすことによって、社会の一員としての自覚を持たせる。</p>

各教育活動における取組の観点	
各教科	生徒一人ひとりの能力や適性に応じ、基礎的・専門的な知識を習得させ、社会人として、必要な能力と態度を育てる。また、農業・工業・商業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、職業人として必要な能力と態度を育てる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を確立し、心身の調和ある生活の実現に努めさせる。 ・ 高い規範意識と他者を思いやる豊かな心を持つ生徒を育成する。 ・ 高い公共心を持ち自己の生き方なり方を考えることができる生徒を育成する。
学習の時間	上級学校や希望企業調べ、また時事問題などについて自ら課題を設定し、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育成するとともに、将来の職業について考えさせる。
特別活動	生徒会活動や学校行事等に積極的に参加させ、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育てる。
その他	服装・頭髪等の身だしなみを整え、主体的に挨拶ができるとともに、環境の美化に努めることができる態度を養う。また、部活動を通して身心ともに健全な人格の形成を目指す。

各学年の取組内容	
1学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 進路オリエンテーション ② 進路ガイダンスの実施（年2回以上実施） ③ 基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ④ 校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑤ LHRの取り組み（進路ノート・上級学校・職業調べ等） ⑥ 石巻地区被災地理解・復興支援 ⑦ 地域交流事業（郷J A職員による郷土料理や農産物を使ったものづくり講座）
2学年	<ol style="list-style-type: none"> ① インターンシップの実施 ② 進路ガイダンスの実施（年2回以上実施） ③ 基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ④ 校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑤ LHRの取り組み（具体的進路希望毎の情報収集と対策） ⑥ 地域交流事業（生活習慣病予防のための食を学ぶなど）
3学年	<ol style="list-style-type: none"> ① 進路ガイダンスの開催（年2回以上実施） ② 基礎学力向上の取り組み（基礎力診断テスト・校内実力テスト等） ③ 進路講話等（外部講師を招いて年3回以上実施） ④ 面接指導・模擬面接・会社見学会などを実施 ⑤ 内定者指導および未内定者への個別指導 ⑥ 校内・校外美化活動（フラワーサービスプロジェクトを含む） ⑦ 地域交流事業（世代間交流など）

家庭との連携
P T A 活動・授業公開・学校だより等の配付・学校HPの公開・メール配信システムの活用などを通じて情報交換を図り、社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域・企業との協働（近隣の小中学校を含む）
インターンシップや農業実習、フラワーサービスプロジェクトやアグリサポートプロジェクト、地域ボランティア活動などの体験的な活動を通して、望ましい職業観・勤労観及び奉仕の精神の育成を図る。